



ARCHITECTURE REVIEW



建築見て歩記 その65

熱海駅近く、海を臨む高台に建つ「海峯楼」で、1995年に隈研吾の設計で完成しました。発表時は「水/ガラス」という作品名で「バンダイ」の厚生施設でしたが、2010年に宿泊施設になりました。そのためか水盤に面した大部屋が2室、小部屋が2室だけの宿です。写真は水盤に浮かぶガラスの個室で、暮れゆく空と海に包まれての食事は、特別な体験です。

CURRENTLY WORKS



2022年のオリジナルカレンダーを作りました！

今回のテーマは「温故知新」です。過去の提案時に作成した模型の写真を各月に載せています。中には当初案から変化し、最終的には模型とは違った案に至った物件もありますが、最初の提案が基本になって設計が進んで行った結果ですので、模型の意味はあったと思います。ご希望があれば、カレンダーを郵送いたしますので、ご遠慮なくご連絡ください。

PRIVATE TOPICS



関山の地元探訪記 その14

今回の訪問は、名古屋市緑区徳重に鎮座する「熊野社」です。バス通りから、車で坂道を上ると、大きな駐車場があり、そこからは徒歩です。徒歩とは言っても、先が見えないような急な階段が続いていて、途中で休憩しながら、やっと到着。参拝を済ませての帰りも急な階段…行きも帰りも大変でしたが、紅葉も鮮やかで、疲れを忘れる気持ち良さでした。

EDITORIAL NOTE

12月になり年末が近づくと「お歳暮」の季節となります。この「お歳暮」の起源は、年が明けてからの年神様へのお供え物を、年内に本家へ届ける、という行事で、江戸時代には、庶民にも広がりました。「お中元」は半期の感謝ですが、「お歳暮」は1年分の感謝であり、それに相応しい贈答品となります。

編集担当：太田・藤原、監修：岡島